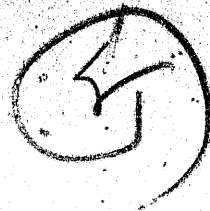


183



20

T

一九〇 受信二〇三六 譯了〇〇四〇 電〇五四六〇 災病

急

請 廣 根

二遣支艦隊

聯合艦隊 第二水川丸 支那方面艦隊

機密第〇九一四四三番電

南支隊隊令第一四號 (G F 機密第〇八一六二九番電關聯)

一、廈門根據地隊司令官ハ第二水川丸センセキ島入港ニ關シ豫メ航路

及錨地ヲ指定スベシ吃水等ノ關係上センセキ島入港困難ノ場合ハ馬

ソ島泊地ニ變更テ支ヘナシ

二、遭難者收容ニ關シテハ陸軍トモ連絡ノ上可ナリ短時間ニテ完了スル

様豫メ手配オケベシ。

第一水川丸

六一Bケ六 (四七〇五KG) 高道 日野原 (波邊)

昭和四十四年四月拾日

180

國 一〇 電話一八七〇五六 電一八九二〇 電〇五七五九 災病◎
 一〇 特根 A

● 佐 航・一 廣瀬島口・二 避支島口・香港特根 A・廈門特根 A
 上海特根 A・高 濱・海 南 書・馬 公 特根 A
 ● IO 五 部 隊 A・A S 三 部 隊・五 基 地 航 空 部 隊 A

機密第一〇一二三五番

海軍病院船第二赤川丸 南 東 側 ヲ 支 那 沿 岸 接 航 シ 東 海 北 部 横 断
 十五日一團〇〇 佐世保ヲ 決定ヲ 以テ 行動シ ツツ ア 關係海圖ヲ 行
 動スル 航 空 機 體 無 ニ 對シ 周 知 方 取 計 ハ レ 度 正 午 位 置 (十 日 以 後)
 北緯一七度四五分 東經一一〇度三一分 北緯二一度二〇分 東經
 一一三度四〇分 北緯二三度五〇分 東經一一八度〇〇分 北緯二
 七度一〇分 東經一二一度二二分 北緯三〇度四三分 東經一二二度
 〇九分

通六四七三 天一Bケ六八一七五七〇IC)一〇通 海 軍

志澤(榛)澤)

第十課

185

20

第一水川丸

四 一二 受信 一三四〇 譯了 一四〇五 電 〇六一三一 災病

緊急

第二遣支艦隊

第二水川丸

聯合、支那方面各艦隊口。一護衛艦隊。一海上護衛隊

機密第一一〇九四三番電

一、船印〇八〇〇馬ソ山島南東一〇哩ノ地點着川石島ニ至ル水路異狀ナ
キヤ通知サレ度

二、本船吃水七米木村川石島ニ於テハ積卸致知ラサレ度。

通六八九九 天一日ケ六(一三五二〇)C、高雄

甲田(酒巻)

昭和廿年四月拾貳日

186

70 四

至急

一五

受信開始 一一一〇五

譯了 一三〇八

電 〇八二八〇

災病

昭和廿年四月拾六日



● 聯合艦隊 戸・舞領・石崎
 ● 第一師團 一護衛艦隊 戸・支那方面艦隊 戸・二遣支艦隊 戸
 廣門根

機密第一五〇〇三一番電

- 一、十五日〇六〇〇川石島發十七日一八〇〇佐世保着二十一日舞鶴着豫定
- 二、收容患者一八名在院患者總數六七七名（内舞鶴行二三七名）
- 三、收容便乘者七三三名便乘者總數八九四名

通九四二六

天一Bケ六（一三五二〇KC）高雄

才野（高橋）

188

20

昭和九年四月九日
第十部

第一九 〇〇〇〇 〇一三〇 〇〇二八七 〇九
〇一〇
〇二 永川丸

● 聯合艦隊司令部・海軍
● 大澤参一郎・佐藤

機密第一八一八回〇番電 二分ノ一、二

後 第二永川丸病院院長

マ十九日〇六〇〇佐世保發二十日一六〇〇舞鶴着豫定

マ統率艦者二五一佐世保病院入院患者等在病室者雜數六九七名要

マツ八一名内解へ船内准士官以上へ外科一七五(三)内科二

〇七(五)呼吸器一二二(一)眼病二三耳鼻二眼科一〇八イロ

〇六七トネウ二〇一傳染病二一輕運豫定一〇

マ便乗者六七名船長二八〇名

第一一七六九七 又一七六六 五二〇〇 佐藤
末光海軍(小澤艦隊)

189

20

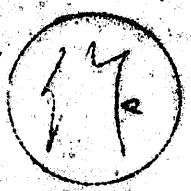
四六

受信一九四〇〇
開始二二二〇〇

了二二四〇 電〇三七三三

作動〇

昭和廿年四月廿日



◎ ◎

四南邊艦隊水上機隊・北^部セレベス部隊▽・二艦隊▽・一一水戦▽
大海軍一部・呉鎮・一〇二戰隊

機密第〇六一八〇五番電

發 三一戰隊司令官

花月四三區逐隊(カヤマキ)柳井沖泊地着

花月逐隊

通四二七〇

天二Bケ八(

B) 吳通

初金(高橋)

8960

8960
A

190

20

h

四 一六 受信一六一一三〇 譯了一六五八 電〇九〇九五 整 作

作

◎ 聯合艦隊口・吳工廠・一一水戦卜
◎ 東京通信隊

機密第一六一一四七番電

發 第三十一戦隊司令官

通報 大本營海軍參謀部第一部長 艦政本部長

花月四月二十日ヨリ一週間ノ豫定ヲ以テ故障ノ箇所修理及旗艦設備
工事ニ從事セシム十九日吳着ノ豫定。

通一〇三〇九 呂一Bケ七 (B) 吳通 才木 (細川)

昭和廿年四月廿七日

191

20

四 一六 受信 一六〇二 譯了 一六四〇 電〇九〇九六 整 作

昭和廿年四月廿七日



東京通信隊・聯合艦隊中・一水戦下

機密第一六一三二五番電

發 第三十一戰隊司令官

着信者 艦政本部長

當隊機密第一六一一四七番電關聯

花月ノ修理所要日數ハ現戰局ニ鑑ミ極力短縮ノコトニ取計ヲ得度。

通一〇二九六

呂一Bケ七

吳通

内山(細川)

cd 神鏡 192

20

受備一九五五
譯始二〇五二

丁〇△三〇 電〇四〇三二 作 機〇

緊急

二二海防隊



八、三三、八二、四一、二〇四各海防艦
沖繩、宇久、對馬、羽節

海上護衛總司令部 三戰隊 佐賀 鎮守 第一〇三戰隊
九〇一航空隊 第一〇三部隊 第一哨戒部隊 第二哨戒部隊

機密第〇六一一四九番電

第三哨戒部隊電令作第四號

七月一八〇〇至モ致情ヲ得ザレバ第一四掃蕩隊神鏡四一號海防艦

ハ索敵ヲ續行其ノ他ノ各艦ハ所定ノ哨區又ハ待機泊地ニ就ケテ對島集

一五掃蕩隊ハ瀨羅山羽節ハ上海宇久八一號海防艦〇第一三哨戒隊

ハ特令ナケレバ八日一八〇〇當隊電令作第一號乃至第四號ニ依ル掃蕩ヲ

打切ル沖繩四一號海防艦第一四掃蕩隊ハ掃蕩シツツ泊地ニ就ケ

通四三一四 於一六一 吳 清水(新井)

八日

1960

193 行動

20

作

四 六 受信一三二七

電〇四七三七

昭和廿年 概月〇
航本

海上護衛總各口、横通

海上護衛總口

繼政本部・人事局・聯合艦隊口・對潛訓練隊

機密第〇五二二〇一番電

通報先

各人事部

對潛學校

電測學校

通信學校

横須賀砲術學校

横須賀航空隊

横須賀機關學校

對潛訓練隊四月九日佐伯發十一日舞鶴着ニテ移轉ノ豫定

通六〇四

天二日ケ六

(松井)

對潛訓練隊四月九日佐伯發十一日舞鶴着ニテ移轉ノ豫定

194

20人

作

四六 受信開始 〇三二〇〇 〇五四〇 〇三三四七 作動

昭和廿年四月七日

東通・一一水戦P・呉通
三海上護衛隊P・伊勢防備隊・呉隊

機密 〇五二三五六番電

後 重 艦 逐 艦 長

行動豫定左ノ通 二一五五發 二案

一六日 須賀 發新湊 俣泊七日一七四 五網代 (居沙島) 八日一八三

〇尾 (五個所) 九日一八三 〇小豆島 十日一七〇 〇内海 誤着

二 俣 泊 地 〇五〇〇

三 九 日 一 二 〇 〇 須 賀 通 信 系 云 云 及 通 信 系 二 入 入

通 三 六 八 八 呂 一 B ラ 十 八 (一八四〇) 横 通 田 甲 (上野)

8960

195

董

至 四 八 急

受信 二〇六五〇七

譯了 二一五

電 〇四八二

作 動

總無線艦所用共通符號

● 横 鎮 一 水雷戰隊 吳 通

● 東 通 吳 鎮 三海上護衛隊 横 通 伊勢防備部隊

機 密 第 〇 八 一 三 三 〇 番 電

發 董 驅 逐 艦 長

横須賀通信隊機密第〇五一二五六番電ニ依ル行動豫定一日繰下ゲ入港

通五四一六 呂一 cp 七 B 横須賀 市瀬 (木 下)

昭和廿年四月九日

0960

73 cd 196

20

至急

四六

受信始 〇〇八二〇四二五

譯了 〇九三七

電 〇三二八一

作動

昭和廿年四月七日



● 吳 鎮 鎮

● 七三 海防 艦

精大海參一部 阪警 對灣訓練部隊 橫須賀港務部
防戰 三海上護衛隊

機密第〇五二二四三番電

本艦左ノ行動豫定ニ依リ吳同航門
四月六日鶴見出港横須賀着八日同地發清水着九日同地發的矢着十日同
地發由良着十一日同地發夕夕力へ着十二日同地發大三島着十三日同地
發吳着。

通三六七九

天二Bケ六(一八四〇號)

横通

高畑(島田)

cd 47
5 4p

197

20

局長					
局長					
A					
B					
東京通信隊					
北					
海防備府					

四 六 開始 〇〇七三〇

了〇八〇〇 〇三三六五

作概〇

昭和廿年四月七日

機密第〇五〇八三五番電

宛 第四七號海防艦 第四九號海防艦

通報 大海 聯合艦隊司令長官 海上護衛總司令部

横領電令作第八二號

第四七號第四九號海防艦ヲ東京灣北航路部隊護衛部隊ヨリ除キ兩艦ハ
成ルベク速ニ大湊ニ回航スベシ。

通三七二五

天二日ケ八(一六四〇KC) 機通 鈴木(松山)

47 cd 198

20 人

局長					
一課長					
A					
B					
E					
J					

四一九受信 一四二四譯了 一五一五 電一〇五九五 作動



大 警 横 鎮 京 谷

〔通報表示〕 東京灣北航路船團

機密第一九〇七五〇番電

發 四七號海防艦長

〇六〇〇大湊ニ向ケ横須賀發

通一二〇七一 天二Bケ八(一六四〇KC)横須賀

才木(小野田)

昭和廿四年四月廿拾日

4960

249
16 Tu

199

20
四

局長	局長	局長
A	B	C
E	F	G
J	K	L
海上護衛隊	海軍部	海軍部
海軍部	海軍部	海軍部
海軍部	海軍部	海軍部

機密第〇六一七一八番電

發 第二輸送隊司令

通報 横瀬本 横運横濱支部 東京灣部隊指揮官

第一六輸送艦ヲ率キ七日〇六〇〇 八丈島發一五〇〇横濱着ノ豫
定便乗者一一五名荷物五〇〇箇。

通四三六〇 天二Bヶ八(B)横通 尾崎(小澤)

七六 譯受信〇〇一五〇

譯了〇〇四〇 電〇三九〇三

運作 本動

共 符

昭和廿年四月七日

24
16 輪送機

行 200

20

人

發 第二輪送機指揮官
 宛 八丈島陸上防備隊指揮官 渡邊長官 鳥島陸上部隊指揮官
 通報 大海隊一隊長 聯合艦隊隊長 GEB口 渡須資運隊長
 第二輪送機 機密第一四一〇二六五電
 八丈島ヲ一六〇〇ニ鳥島ヲ十六日〇〇三〇ニ鳥島ヲ〇三〇〇ニ
 對面ス。
 九〇二四 三一四七 (須賀 山下) ソ

第一區 受信一七三〇 了 一八三〇 電〇七九一六 作 動 〇
 開始一七五五
 機密第一四一〇二六五電



昭和廿年四月拾五日

201

20

四一八

受信開始一四三二
一四一五

一四四五

電一〇〇七四

作動

作

共

符

- 二機送敵下・九〇三空・横領・八丈島海上防備
- 大津参一部・海軍總口・横運給部・聯合艦隊
- 東京灣北航路部隊・東京灣部隊△

機密第一八〇八〇五番電

第一六號輸送艦長

本艦行動豫定左ノ通

○八〇〇 八丈島發一六〇〇館山着速力三、六引揚人員機材陸揚後
十九日朝横須賀着。

通一一四五七 天二日夕八(一六四〇)横通 長谷川(河田)

昭和四年四月拾九日

20

20

櫻梅



四七

受信開始一九二五〇〇 譯了一九四〇 電〇四三〇〇 作動

櫻・梅

聯合艦隊司令部 第一遊撃部隊 佐 鎮

機密第〇七五二番

一一水雷隊電令第二三號

櫻及梅ハ内海西部八島ニ回航スベシ。

通四八七四 口一Bケ七(B) 吳通 藤原(鈴三)

月八日

137 ~~14~~ 203

20 人

至 急

四 七 受信一六五七 譯始一六一五 譯了一六五〇 八月二日八 作



八丈島陸上防備部隊 海上護衛總口・聯合艦隊口

機密第〇七〇八三〇番電

發 第一三七號輸送艦長

着信者 横領司令長官 第二輸送隊司令

受報者 東京灣部隊指揮官 東京灣北航路部隊指揮官 横須賀運輸部長

本艦行動豫定左ノ通

一三〇〇横須賀發館山假泊

二八日〇五〇〇發列島ノ東側ヲ接航一五〇〇八丈島着。

通四七八七 天二〇一 B 横須賀 森 吉 田

0922

137 TU

204

20

T

通四九三七

天二B

B

横通

村

杉一吉

田

本艦行動豫定左ノ如ク變更 八日〇二〇〇館山發一二〇〇八丈島着

機密第〇七一五三〇番電



●

大海戦力補給部

聯合艦隊口・海上護衛總部隊各口・館山空
横運・東京湾部隊▽・東京湾北航路部隊▽

●

横領・横警八丈島派遣隊・第二輸送隊▽

●

一三七輸送艦

四七

受給開始

二〇三一〇

譯了

三五〇四三五九

作動

八月八日

8460

139 Tu 205

至 念 四 八

受信一五三九
譯始一六三一

譯了一六三七

電〇四七四六

作

動

昭和四年四月九日



機領・第二輸送隊



大海戦力補給部・聯合艦隊口・東京灣北部隊口・機領對潛航空部隊
海上護衛總口

機密第〇八一四〇番電

發 第一三七號輸送艦長

通報 橫須賀運輸部長 東京灣部隊指揮官

本艦一一三六 八丈島着

通五三七九

天日夕八(三) 横須賀

片山(川口)

0924

20 ch 206

20

緊急

四八 受信 〇〇五四 譯了 〇一五〇 電〇四四一七 作動

四月八日



● 總無線艦所用共通符號

● 一護衛艦隊 〇一海防隊

● 海上護衛總隊 〇九〇一空

機密第〇七一二四五番電

二〇 艦艇長

一二一五着

NTT

通五 〇二九 天一B六(四七〇五) 高雄 石毛(小野田)

207 (Handwritten)

20 (Handwritten)

姫島丸 (Handwritten)

通五四〇六一於十五(七四六〇)カニガヤ 出高(敷田)

發 姫島丸 艦長
二〇〇〇鹿兒島着、豫定 直二重傷者(火傷四就一燈 燈負就創一
一收容方御配慮得度。

機密第〇八一四〇二番電

傍 (Circular stamp)

海上護衛隊
佐誠・鹿兒島在勤武官

至急

四八 文信一五四一〇 譯了一五二五 電〇四七五八 炎 海

無線電所用共通符號

昭和廿年四月九日

208

20

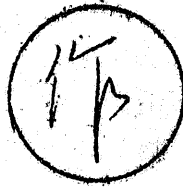
四七 受信〇三五九

電〇四七三九 作 機〇

昭和廿年四月九日

至 急

共 符



七三號海防艦。保高（海防艦）

大海參一部。嶺鎮・吳防戰▷

機密第〇六二二二二番電

發 G B B 參謀長

對潛訓練隊ハ九日佐伯ヲ引揚ゲ十一日舞鶴着（移轉）ノ豫定貴艦ハ途中
假泊ハ成ル可ク取止メ且内海及關門方面敵機雷投下後ノ掃海水路ニ時ニ
留意シツツ舞鶴ニ進出ノ事ニ計畫變更シ行動豫定更メテ電アリ度。

通 七四七六

天二Bケ八

（渡 邊）

夏 209

20

傍

緊急

四 一八 受信一三二九 丁 一四五三 電一〇〇七三 作動〇

七艦隊P・吳通・佐通

一一水 艦 P

機密第一八二一三二番電

吳鎮佐領各司令部

夏月左ニ依リ内海西部ニ回航ノ決定對潛警戒ニ關シ配慮アリ度
磁氣(音響)機雷敷設等ニ依リ通航禁止場合以前速報サレ度

四月二十一日〇九四五佐世保發一七三〇關門海峡通過二三〇〇八

島嶼地着

通一一四六一 色一Bケ七 () () 佐通 柏澤(三五)

昭和十年四月九日

210

20

人

夏月
NAE

河五三七五

イカリB

(B)

佐邇

藤野(渡瀬)

夏月竣工引渡了ス。

機密第〇八一四一三番電

大

臣

至急

四八 受信一六〇三五〇

譯了 一六一五 電〇四六八八 整備

佐世保工廠

昭和廿年四月九日

211

20

四

一〇

受信一六一四〇
譯始一六四〇

譯了一七三五

電〇五六八五

一 整 備

緊 急

夏

月

月

東通・吳通・聯合艦隊口、六艦隊口

機密第一〇一一四六番電

宛 大臣・總長・吳鎮司令部

四月八日授受了了但シ全力運輸及之ニ伴フ諸公試未施行（一八節）
以下摺合ヲ運輸施行濟一輛輪測定儀未裝備四式射擊裝置工事等 施行
ノ爲四月十五日迄役務ニ差支アリ。

通六四一九 呂一Bヶ七 B 二佐 通 中川（増田）

昭和十年四月廿四日

0860

部	務	總

2/2

20

至急

四八

受信一六三五四
始一六三三五

了了一六五〇
電〇四七六〇
鑒

共

行

昭和廿年四月九日

備
總務部
204/9
接受

大臣。舞鏡
海政本部。横銀
海護總口

機密第〇八一四〇五番電

發 奄美嶽裝員長

四月八日 日本鋼管株式會社鶴見造船所ニテ海防艦奄美ヲ受領ス。

通五三七三 天Bヶ八(B) (二) s P 山崎(美見)

cd

215

四 八
至 急

受信 〇〇三〇〇
開始 〇〇三〇〇

譯了 〇四四〇 電 〇四四五九

作 概 〇

二二海防隊



第八、三二、四一、八二、一〇四各海防艦
沖繩、宇久、對馬、羽節

海上護衛總中、一〇二戰隊、九〇一空、佐鎮、鎮警、
第一護衛艦隊、第一哨戒部隊、第三哨戒部隊、AS三部隊

機密第 〇七 一八四六番電

本電機密第 〇七 一一四九番電作成換

第三哨戒部隊電令作第四八五號

七日一八〇〇ニ至ルモ敵情ヲ得ザレバ第十四掃蕩隊沖繩四一號海防

艦ハ索敵續行其ノ他ノ各艦ハ所定附近又ハ待機所ニ就ケ一對馬第一

五掃蕩隊、シセウ山羽節ハ上海宇久八一海防艦GD第十三哨戒隊FG

三時令ナケレバ八日一八〇〇當隊電令作第一號乃至四號ニ依ル掃蕩ヲ

打切ル

沖繩四一號海防艦第十四掃蕩隊ハ掃蕩シツツ泊地ニ就ケ。

通五 一〇二 於十六 (五二〇〇KC) 佐通 山 本 (吉 田)

四月八日

0984

海島丸

216

20 人

至急

四八

受信開始 〇〇八八四〇〇

譯了 〇九三五

電 〇四五七九

作動

共

符

作

- 吳鎮敷設部隊・阪警・横鎮
- 運輸本部・横防戰P・横須賀運輸部
- 横濱羅輪支部・北三陸部隊・南三陸部隊

機密第〇八〇七四五番電

發 停島丸艦長
本艦行動豫定左ノ通

横濱發 八日 〇八〇〇 犬吠 崎一八〇〇 玉島 九日 〇八〇〇 船崎 一六〇〇 尻
 矢崎 十日 〇三〇〇 大湊 着十日 一二〇〇 速力 一三節 航路 接岸 護衛 艦犬吠
 崎迄 五一號 驅灣庭。

通五一八三

天二Bケ八 (B) 横

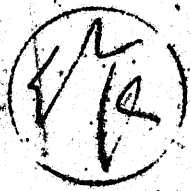
村杉 (島用)

昭和廿年四月八日

217

至急

四一二 受信 六三八 譯了 二一三五 電 〇六八九五 作 動



● 運輸本部
● 横領口・大響口・大湊航空隊・南三陸部隊
● 山田灣航空基地

機密第一二一〇四一香電

發 浮島丸艦長

本艦行動豫定左ノ通

山田港發十三日〇四〇〇 銃角一〇〇〇 尻矢崎一四〇〇 大湊港外着二二〇〇 航路接岸速力一三節 護衛艦二四號掃海艇一號掃海艇(八戸港)

通七七〇一 天一Bチ八(八一五〇KG) 大湊 藤井(大見)

昭和廿年四月拾參日

73 cd

218

20

四 八 受信一六五〇〇四 譯了一六二五 電〇四七九九 作 動

至 急

總無線電所用共通符號



海上護衛總司令部 吳對潛訓練隊出動艦艇

大海參一部・橫濱・舞鶴・大警戸

吳防戰 横防戰

機密第〇八〇九一二番電

發 第七三號海防艦長

海上護衛總司令部機密第〇六二三一一番電二依ル本艦行動豫定左
ノ如ク改ム

四月九日	橫須賀發	館山着	十日	同地發	十一日	女川着
十二日	同地發	八戶着	十三日	同地發	函館着	
十四日	同地發	船川着	十五日	同地發	新潟着	
十六日	同地發	七尾着	十七日	同地發	敦賀着	
十八日	同地發	舞鶴着				

通五三七二 天二日ケ八 (日) 橫須賀 村尾 (阿 波)

昭和廿年四月九日

4860

73 of 219

20

四九

受信一〇〇八
開始一〇二八

了 一〇五〇 電 〇五〇五九

昭和廿年四月九日
作動



海上護備總口。吳鎮。對潛訓練隊（吳對潛訓練部隊）出動艦艇
大海參一部
舞鎮參謀長。槽鎮參謀長。吳防戰▽。橫防戰▽。大警

機密第〇八一八四三番電

發 第七三號海防艦長

七三〇〇機密第〇八〇九一二番電關聯

燃料ノ關係上橫須賀出港ヲ暫ク見合ヘ。

通五七六

天二日ケ八

B

横樋

大

石

小

晴

73 CA 220

70



四 一二 受信一七四三
譯始一八四〇

譯了一九〇〇 電〇六八三〇

作 動

昭和廿年四月拾參日

● 總無線艦所用共通符號

● 吳鎮・海上護衛總口・對潛訓練隊（吳對潛訓練隊出動艦艇）

● 大海參一部・大警・吳防備戰隊・橫防・橫鎮・舞鎮

機密第一二一五三四番電

發 第七三號海防艦長

本艦行動豫定左ノ如ク改ム

十二日橫須賀發金田灣 十四日女川 十五日八戸 十六日函館 十八

日佐渡 二十日舞鶴着。

通七七三五 天二Bケ八（B）橫須賀 村尾（森）田

6860

22
7A

20

34

至 八
急 開始 一六二三〇

一七二〇
〇〇四八〇七

昭和廿年四月九日

機密第〇八一〇一二番電 二分ノ一二

發 機雷部隊指揮官

當隊 (常磐) 高榮丸 濟州怒和島) 四月九日一二〇〇佐世保發伊萬里

假泊 (新井崎合同) 十日〇八〇〇假泊地發一七〇〇下關海峽通過十一

日〇〇〇〇佐伯着機雷搭載ノ上 (三原丸合同) 十二日夕刻同地發

十三日〇七〇〇下關海峽通過 (海二九二二合同) 二一〇〇加德水道着

十五日早朝同地發 對馬海峽機雷擡 第一次敷設 (西水道) ヲ實施ノ

豫定對空對潛警戒ニ關シ然ルベク取計ヒ相成度。

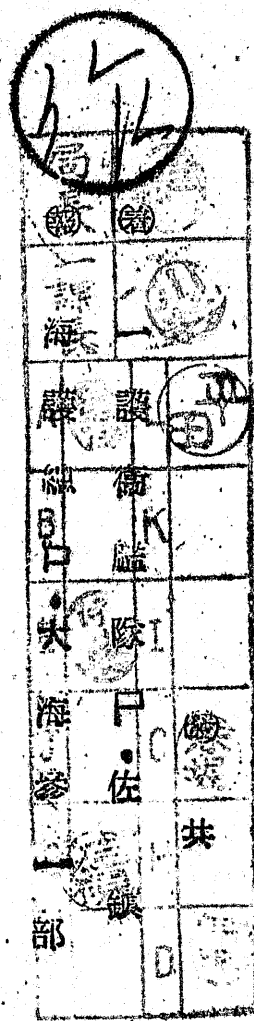
通五三七四、五三八五 天五Bケ八 (五二〇〇KG) 佐通 筒井・サイ藤 (榛 澤)

0660

222

20 人

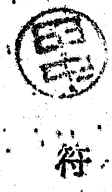
180



機密第一二二六四五番電

發 第一八戰隊司令官

常 蟾 巨 濟 新井 靖 才 率 中 佐 伯 着



昭和廿年四月拾參日

T660

188

223

20

作動

通八三一〇 天二日ケ八(九八三〇)佐二放 岩佐(五島)

發 一八殿除司令官
便宜佐世保發豫定ノ如ク行動十五日〇七〇〇小串沖ニ於テ合同スベ



緊急

二九海防艦

共

符

機密第一三一三二〇番

四一三 受信一四四二 了十一五一八 電〇七三四四 作動〇

昭和廿年四月拾四日